



嶺鶴

令和8年5月29日
大田区南久が原 2-17-1
電話 (3750)2260
FAX (3750)2280

こどもたちの素晴らしい姿

大田区立東調布第三小学校

校長 酒井 敬子

先日の学校公開には、多数ご来校いただき誠にありがとうございました。こどもたちの頑張る姿を見ていただけたことと存じます。私が東調布第三小学校に着任して2か月が経ちましたが、この期間に「嬉しいなあ、素晴らしいなあ！」と実感するこどもたちの姿がいくつも見られました。今回の学校だよりでは、それを紹介いたします。

まず、連休明けに行われた3・4年生の遠足でのことです。遠足の前に怪我をしまったり、みんなと一緒に活動するのに勇気が必要だったりするお友達に対して、そっと寄り添って助け、言葉を掛ける優しい姿が見られました。また、たくさん遊んで疲れ果てた中で行った帰校式で、緊張しながら話す仲間の話を、静かに真剣に聞く凛々しい姿もありました。

5月下旬に行ったペア学年遊びでは、4・5・6年生が遊びを考え当日の司会や進行も行って、1・2・3年生の下学年を楽しませました。上手にルールの説明ができなかったり、スムーズに遊びが進まなかったりしたチームがあったかもしれませんが、みんな一生懸命で表情はいきいきとしていました。

圧巻だったのは、5月13日の音楽朝会です。「つばさをください」の歌を、まず6年生が範唱しました。美しい歌声が1～5年生を圧倒！！次は全員で歌う番です。「私たちも6年生のようにうまく歌いたい！」そのような気持ちがあったに違いありません。音楽教員の指揮のもと、全校児童の歌声が体育館に響き渡りました。本当に見事で心が揺さぶられ、思わず涙が出るほどの感動でした。

これらの素晴らしい姿が表れる背景には、三つの共通点があるように私は思います。一つめは、無理やり誰かにやらされているのではなく、自分たちで考えて行動しているということ、二つめは、自分たちで考えたことが成し遂げられ、成果として表れていること、三つめは、仲間との関わりがあるからこそ成り立っているということです。

「自分たちで考えよう 自分たちで成し遂げよう」の心構えをこれからも大切にして、こどもたちに充実感や達成感、自己有用感が得られるよう、日々の教育活動に当たってまいります。